

[第874回ゼミ報告] 2024年2月23日号

日経平均株価が34年ぶりに最高値を更新したと、2月23日朝刊の一面に3万9098円の数字、实体经济と隔たりとも。庶民の生活はどうか・・・2月14日のゼミは、柄谷行人『力と交換様式』第3部3章「資本主義の終わり」・第4部1章「社会主義の科学1」を竹内さんの報告で行いました。第3部3章では、交換様式Cが支配的であり、「資本=ネーション=国家」の三位一体になっている体系を「終わらせよう」としてきた霊的・観念的な「力」を考察する。十月革命の帰結から20世紀の世界資本主義を概観し、資本主義が何故存続するのかを解明し、カギは「交換から生じる観念的な力」であると主張する。晩年のマルクス・エンゲルスの仕事から、資本主義に対抗する力の下で、交換様式Dを提示し、資本主義では人間と自然の「交通」がなく、交換様式Cが人間と自然の関係を歪め、戦争の危機をもたらすと予告する。第4部1章では、資本主義の後に来るであろう、交換様式からの観念的な力を考える。交換様式Aの高次元での回復とDの出現に際し、Dは人間の意志や企画により到来するのではなく、向こうから「共産主義」という幽霊の存在、その存在を明らかにすることが社会主義の科学と結論づける。すなわち個人的所有Aの高次元の回復は様式Dの出現だと、説く。

討論では、第3部第3章では、柄谷独自の世界を展開している。なぜかここには労働者が出てこないし、労働組合も出てこない。労働の軽視は生産の軽視へとつながって、生産様式・生産方法の進歩によって資本主義を生み出した重要な経緯が置き去りにされている。第4号第1章では、交換を中心に論じてはいるが、まるっきり上から見下ろして、製造ラインで働いたことはあるのだろうか、と思ってしまう。階級とは何か、明確にせず、労働者は無産者であり、搾取概念も出てこない。生産がないと交換もできない。今回は担当者の事情により完全オンラインで開催し、オンライン出席は小野さん・竹内さん・後藤さん・高田の4名でした。

* 2月28日(第4週)ゼミも、午後5時半(or 45分)から8時です。

・オンライン情報 Zoom: ID: 852 4025 9827 パスコード: 584886

* 3月13日ゼミで、柄谷本が終了予定です。次のテキスト案を募集中

* 2月14日ゼミは、オンライン配信担当の私・高田が急用で会場に行けず、自宅からオンライン配信となり、会場参加予定の方々には参加不可となり、オンライン参加者のみのゼミとなり、大変ご迷惑をお掛けしました。

***** ゼミ日程 *****

2月28日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』4.資本の輸出 5.世界の分割 報告竹内さん

3月13日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

柄谷行人『力と交換様式』第4部2章、3章 報告後藤さん

3月27日(水)午後5時半～8時 堺筋本町瓦町・アイクルの部屋

レーニン『帝国主義論』6.列強・・・7.特殊な段階・・・ 報告者未定

その後 4/10, 4/24, 5/8, 5/22, 6/12, 6/26, 7/10, 7/24

◇第三学科事務局/高田好章: ytakada@kcn.ne.jp 090-8658-3755

HomePage: <http://ysweb.g.dgdg.jp/ytakada/kisoken/> Pass: kiso